

## 鎌倉との出会い

作家・永井路子さんの文章

「歴史の町にふさわしく、はじめて鎌倉を訪ねた方は、いやでも歴史そのものの中に踏み込んでゆくことになる。なぜなら最初に歩かれるはずの道は、鎌倉の歴史のプロローグを告げる道であるからだ。まさに鎌倉は『はじめに道ありき』なのである。

鎌倉めぐりで、誰もが足を向けるのが鶴岡八幡宮。駅の広場を突っ切って左を見ると近くに赤い大鳥居があり、さらにその突き当りに朱塗りの鳥居や社殿が見える。

その社殿に突き当たる広い道が、名も若宮大路である。そしてこれこそ十

二世紀の終りに鎌倉入りした源頼朝が、まず手始めに作らせた道なのだ……」

（永井路子の「私のかまくら道―鎌倉の歴史と陰より」）

この素晴らしい文章に出逢い、そしてこの本を参考にして鎌倉を歩き、源頼朝が歴史上初めての「武家政権」を成立させてきた過程と、古都・鎌倉の息吹きに魅了されました。

さらに鎌倉時代―源頼朝から尼将軍政子を経て、北条執権政治終焉―の約百五十年間の物語を、願わくば、同行の士と語らい、散策しながら、鎌倉の歴史文化の空気を共有し、心豊かな一日であって欲しいと思い「鎌倉の散策コース」を企画してみました。

テーマとして、概略ですが、

- ① 源氏が鎌倉に根付いた理由
  - ② 平氏と源氏の勢力争い
  - ③ 源頼朝の出生と伊豆配流
  - ④ 源頼朝の鎌倉幕府創設
  - ⑤ 政子と北条家の執権政治物語
- を基本として、これに枝葉をつけて同行の士と共に楽しく作り上げていきたいものです。

そして「鎌倉の散策コース」の一日が、歴史を作り上げてきた人、また、歴史上には登場しない名もなき人への感謝と、ご自分の家族、友人との楽しい語らいの糧となっていただければ望外の幸せと感ずるものです。